

# 九州

九州支社

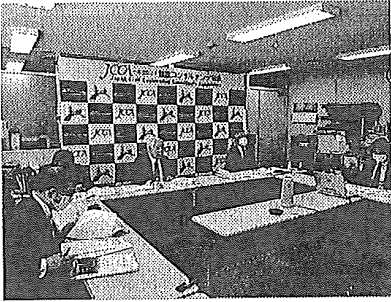
〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目10番20号(KC天神ビル東)  
電話092・741・4605 FAX092・741・1732  
kyusyu@den.co.jp

## 熊本市に平準化など要望

### 県・政令市との意見交換開始

建コン協九州

建設コンサルタント協会(建コン協)九州支部(田中清支部長)は10月29日、熊本市とのウェブ形式による意見交換会を開き、写真、県・政令市との2021年度の意見交換会をスタートした。12月下旬まで自治体ごとの個別提案、技術力による選定など共通の要望・提案について意見交換する。熊本市には納期の平準化などを要望。市は歩掛かり見積もり徴取時の予定価格設定方法の見直しや業務成績評価結果の公表に前向きな姿勢を示した。



意見交換会は対面形式とウェブ形式を併用して開催。各県・政令市に本社がある地元会員企業の意向を踏まえた個別提案、担い手の確保・育成のための環境整備と技術力による選定、品質の確保・向上の3項目からなる共通の要望・提案などについて意見を交わす。

熊本市との意見交換会の冒頭、田中支部長は政府が掲げる防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策の強化と財政の単年度主義の見直しに対して「事業量の確保、翌償や繰り越しの活用による納期の平準化に大きく寄与する」と期待感を表明。

コロナ禍でも建設関連産業は国民、市民の生活を維持するために事業を継続してきたとし「働きがいのある職業として担い手を確保・育成できるようなまなまなな要望と提案について意見交換したい」と述べた。市の清永健介契約監理部長は「コロナ禍への対応は難しいが、今後とも皆さんとの対話を続けることも、現場の担当者らと情報

交換しながら担い手3法に沿った各種の取り組みを進めていきたい」と話した。

市への個別提案は▽複数受注制限の緩和▽測量作業などでの熱中症対策に関する費用の取り扱い▽歩掛かり見積もり徴取時の予定価格の設定▽業務成績評価制度の導入・公表と表彰制度の導入。

複数受注制限について市では1000万円未満の業務の受注を最大1件とする制限を設定。1000万円以上の業務は業務内容によって最大1件の制限を設定する場合としない場合がある。建コン協は担い手の確保・育成の観点などから制限の緩和を求めた。

熱中症対策費用について市は工事と同様、国からの通知があれば屋外での作業を伴う業務でも対策費の補正に応じると回答した。

標準積算基準書に記載がない業務で見積もり徴取して予定価格を決める場合、市と熊本県は最低値を採用

している。これに対して建コン協は他の九州の県や政令市と同様に平均値か平均値直下を採用するよう求めた。市は熊本県と協議しており、平均値直下への変更に対応したいとした。

業務成績評価制度での評価の公表について市では試行結果を踏まえ24年度の公表を予定していること回答。表彰制度は研究を進めると応じた。

共通の要望・提案のうち納期の平準化では建コン協

が20年度の市発注業務のうち第4四半期納期の割合は71%、3月納期の割合は50%といずれも他の県・政令市に比べて取り組みが遅れていると指摘。市は可能な限り平準化に努めると回答した。

建コン協がウェブ会議の積極的な活用を求めたのに対し市は受注者から要請があれば対応するとし、プロポーザルと総合評価方式の導入・適切運用について市は今後拡大する考えを示した。